

世界の廃炉の現状講演会と JMTR 施設見学・意見交換会開催のご案内

いばらき成長産業振興協議会事務局

7年前に事故を起こした福島第一原子力発電所の廃炉では、今後二十年以上にわたり総額20兆円もの費用がかかると試算されています。また、原子力施設の廃止措置では、1基あたり数百億円の費用と数十年の期間が必要とされています。現在、茨城県内では日本原子力発電株式会社の東海第一発電所に加え、日本原子力研究開発機構が所有する複数の原子力研究施設も廃止措置が決定しており、今後も長期間実施される原子力施設の廃止措置や廃炉作業をひとつの中小企業参入ビジネスチャンスと捉えることができます。

そこで、茨城県では、廃止措置に興味のある県内企業の皆様を対象に、参入可能性を探るため、廃止措置が計画されている日本原子力研究開発機構大洗研究所において下記のとおり「世界の廃炉の現状講演会と JMTR 施設見学・意見交換会」を開催します。

参加を希望する会員様におかれましては、別紙によりお申込みください。

記

- 日時** 平成30年6月27日(水) 12:30~17:30
- 場所** 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所 JMTR 施設
(茨城県東茨城郡大洗町成田町4002番地)
- 主催** いばらき成長産業振興協議会 (共催 県内中性子利用連絡協議会)
- 日程等**
 - 12:30 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 南門駐車場集合 (南門駐車場までは各自乗用車かタクシーでお越しください)
 - 12:30~13:00 入構手続き (身分証明書として参加者全員分の免許証又はパスポートが必要です)
 - 13:00~13:05 バス移動 (南門⇒JMTR 施設) (乗用車は南門駐車場に駐車しておく)
 - 13:10~13:20 開会, 挨拶
 - 13:20~14:40 講演会
 - 1) 世界の廃炉の現状 (仮題)
(財)エネルギー総合工学研究所 特任参事 林道 寛
 - 2) JMTR の概要と廃止措置計画の現状
(国研)日本原子力研究開発機構 廃止措置準備室長 土谷邦彦
 - 14:40~16:20 JMTR 施設見学 (身分証明書として参加者全員分の免許証又はパスポートが必要です)
 - 16:20~16:40 意見交換, 質疑応答等
 - 16:45 閉会
 - 16:50~17:30 バス移動 (JMTR⇒南門) 退出手続き後, 大洗研究所 南門解散
- 参加費** 無料
- 定員** 30名 (先着順)
- 申込期限** 平成30年6月14日(木) 午後5時まで

問合せ先

(株)ひたちなかテクノセンター 栗原、大高

電話: 029-264-2200 メール: kurihara@htc.co.jp ootaka@htc.co.jp

(別紙)

申込先：ひたちなかテクノセンター 栗原行き

(FAX：029-264-2203) (Eメール：kurihara@htc.co.jp)

**世界の廃炉の現状講演会と JMTR 施設見学・意見交換会
参加申込書**

(申込期限：6月14日(木))

企業名・機関

電話：

参加者氏名 (ふりがな)	部署・役職	連絡先Eメールアドレス

(留意事項)

- ・当日は、参加される方々の企業名・氏名・部署・役職を記載した名簿を各参加者及び研究所員、県職員に配付いたします。
- ・申込み多数の場合には、人数を各社1名にお願いする場合、あるいは先着順でお断りする場合もございます。(その際は、見学会前に申込みいただきました各企業に連絡いたします。)
- ・なお、身分証明書(免許証、パスポートなどの写真付き公的証明書)を必ずお持ちください。また、代表者だけでなく、参加者全員分をご準備いただきますよう、よろしくお願いたします。忘れますと JMTR 原子炉内の見学はお断りすることになります。

【会場案内】

住所：茨城県東茨城郡大洗町成田町 4002 番地

<https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/access.html>

入場口の最寄りには国道51号沿いの信号「原子力機構南門前」となります。入場後は、誘導員に従って駐車場へ駐車願います。